

## 南海トラフ沖地震を想定した災害訓練を行いました

平成27年2月26日（木）、南海沖を震源とする大地震を想定した災害訓練を行いました。今回は震度6強の地震が発生し、最大津波高が5m、被災した住民が来院してくるという設定で行いました。

院内の災害対策委員会が中心となり作成した「災害対策マニュアル」を用いて、実際に災害対策本部、GM（診療統括エリア）、トリアージポスト、赤・黄・緑患者の診療エリアを設置し、適切な診療や情報伝達が問題なくできるかどうかの検証を行いました。

今回はじめて訓練に参加した者も多く、開始後はいつもと違う対応に立ちすくむ場面もありましたが、最後には災害モードにスイッチを入れた動きが展開されていました。

終了後には全員で意見交換を行い、訓練を見学して頂いたJA山口厚生連長門総合病院DMA Tの医師、柳井環境保健所健康増進課、1市4町の保健センターを代表して周防大島町保健センターの保健師からも的確なご講評を頂き、多角的な視点での検証を終えることができました。

今後も二次保健医療圏で唯一の災害拠点病院として、災害対策マニュアルの検証やアクションカードの作成等に取り組むのはもちろん、地域と協働しながら健康危機に対する方策のあり方を考えていきたいと思えます。

山口県厚生連周東総合病院 災害対策委員会



1. 院内放送後に集合した多数の職員



2. GMが各診療エリアの配置を決定



3. 看護師による一次トリアージ



4. 赤エリアで重症患者の対応



5. 黄エリアで中等症患者の対応



6. 緑エリアで軽症患者の対応



6. 災害対策本部で迅速に情報収集



7. 災害訓練後の意見交換



8. 災害訓練の参加者全員が一致団結

ご協力頂いた皆様に心より感謝申し上げます